

2010年KAZEスーパーバイカーフェスティバル

主催 カワサキライダーズクラブKAZE 東京事務局
後援 株式会社カワサキモーターズジャパン 東京支店
協力 有限会社リンクスコーポレーション

1. 参加資格

- ・KSR110を運転する技能を有すること。
- ・KAZE会員及び一般の方で、本大会の趣旨、競技規約、誓約書の内容を理解し全体的に従えること。
- ・未成年者は保護者の誓約書内容確認と賛同を得られること。
- ・参加者が16歳未満の場合は上記3項に加え、当日保護者または保護者の依頼による成人の同伴者の同行が可能なこと。

2. クラス分け

クラス分け		内容概略
ST	ストック	ほとんどのノーマル車両で参加が可能なクラスです。
SS	スーパーストック	ノーマルベースで多少の改造ができるクラスです。
OPEN	オープン	基本車両規定以外のほとんどのことができるクラスです。

3. 順位の決定と賞典

- ・ゴールは各レース時間経過時点、または予定時間の経過時点で先頭車両に対してチェッカーフラッグが振られ、その時点で終了となります。
- ・順位はチェッカーフラッグを振られた後に一周回りの多いものから決定され、同一周回の場合は先にコントロールラインを通過したものを上位とします。

4. 競技規則

1) 主催者の権限

- ・競技の中止、延期、一時中止後のリスタート、時間短縮などの時期を問わない特別ルール決定を含む競技に関する全ての事に決定権を持ち、この権限は主催者のみが持つものとします。
- ・競技参加者・参加車両に関して必要な場合は参加の拒否を行えるものとします。
- ・規則違反者に、強制的にペナルティを負わせる権利を持ちます。
- ・コース上以外のパドックエリア、アウトロードでの火災・人身事故が発生した場合はレースの中断を宣言し、必要に応じてそれ以降全てのイベントメニューを中止できる権限を持つものとします。

2) ライダーの遵守事項

- ・主催者の権限行使に従い、妨げになるような行為・言動は行わないこと。
- ・参加者は会場内外を問わずマナーに従い、全ての行動について責任をもたなければならない。
- ・競技参加にあたり、発生して起こった傷害・死亡・その他の事故等で受けた損害に対し、主催者及び大会役員・会場責任者に対して非難や責の追求、または損害賠償の請求はできない。
- ・レースパドック内では、参加車両はエンジンを停止して移動する事。参加車両以外のオートバイを運転する場合はヘルメットを着用すること。
- ・いかなる場所・場合でも、自分より技能が劣るものや初心者には思いやりを持った行動を行うこと。
- ・フリーフィングライダーズミーティングは必ず出席のこと。欠席の場合、ペナルティをとる場合があります。

3) 参加時の装備品

- ★以下の項目をよく読んで、準備してください。当日、装備車検は実施しませんので各自で申告書にチェックし、チームの代表が責任をもって参加者の装備を確認して確認欄にサインをしてください。サインが無い場合は参加できません。
- ・ヘルメットはフルフェイスタイプでシールド付きの物に限定して使用を認めます。MFJ公認のロードレース用フルフェイスを推奨します。
- ・ヘルメットリムーバーの装着を推奨します。これは、転倒時に迅速にヘルメットを脱がしてレスキューを行う目的のものです。装着は義務ではありませんが、ご自身のために推奨します。
- ・レーシングスーツ・グローブ・ブーツは皮製のものに限定して使用を認めます。
- ・レーシングスーツはMFJ公認のスーツが望ましい。MFJ公認以外のレーシングスーツ着用の場合は、別体式の脊椎パッド(ツナギ内臓は不可)装着を推奨します。過去、ミニバイクレースの事故で脊椎骨折をしたライダーの方もいますので、別体式脊椎パッドを用意してください。
- ・装備品は共同使用を認めます。出走するライダーは装備の確認をし、チーム員同士で確認をした後出走してください。
- ・大きな破れなどの痛みが無く、本来の性能を十分に発揮できるもの。
- ・装備品の不備が原因で参加者自身が受けた被害、損害ならびに他の参加者に与えた被害、損害について主催者は一切関知せず、違反行為を行ったものが全ての責任を負うものとします。

4)車両の検査(車検)

- ・参加者は車両の検査を当日レース会場で受験して合格しなければ出走できません。
- ・参加者は検査の結果が不合格と判断された場合、指摘箇所を修正しなければ競技に参加する資格を失います。
- ・合格者(車)にはステッカーの貼り付けを行います。
- ・主催者は、規定の車検の時間以外でも不適合の恐れのある参加者・参加車両に対していかなる場合でも再検査を行う権限を有し、この時に不合格の判定を受けた参加者は、修正を行い再車検を受けて合格の判定を受けるまで再スタートはできません。
- ・車検に不合格になり当日のレースに出走できなくなった場合でも、エントリー費は返却いたしません。

5)安全確保と罰則(以下、ペナルティと記す)について

★参加ライダーの安全確保と公平なレース運営のため、下記の項目についてご理解とご協力をお願いします。

- ・大会中の違反行為に対しては、競技長の権限で下記のペナルティを課すこととします。
- また、ペナルティに関しての抗議は一切受け付けません。

a)警告 b)順位、タイムの加算、周回数の減算、ストップアンドゴーなど、成績に対する罰則 c)失格

●黄旗提示区間におけるフラッグ無視

- ・転倒などによりコースが危険な状態の場合、黄旗が示されます。
- ・フラッグ無視の判定は、現場競技役員の判定を基準とします。

【黄旗提示区間の追い越し】

ストップアンドゴーペナルティ(5秒～10秒の停止)

このペナルティを与えることができない場合は、レース結果に30秒～1分を加算します。

【黄旗提示区間のコースアウトまたは転倒】

周回数を1周以上減算

【黄旗提示区間の事故】

周回数を2周以上減算もしくは失格

●コーナーのショートカット及びコース横断

- ・コースアウトした場合、自分に有利とならない場所からレース復帰して下さい。
- ・当該ライダーが有利となるショートカット(コーナーのコース外を走行)はレース結果に30秒以上加算のペナルティを課します。
- ・コース横断の際は、必ずコース係員の指示に従って下さい。

●妨害行為及び危険行為

- ・競技中、故意に他の車両の走行を妨害してはならず、明らかに重大な事故の発生が予測できる危険な行為を禁止します。
- ・グラウンドスタンド前を始めとする直線部分での、蛇行・幅寄せ等を禁止します。

6)周回計測

- ・自動計測の集計結果を、正式にリザルトとします。
- ・参加者の身体の一部が妨げになり周回計測が不可能であった場合、その周回は無かったものとして手動記録は行いません。

7)ライダー交代

- ・SSクラス・OPENクラスの耐久レースに参加の際は、エントリーは2名以上から受け付けます。走行は必ずエントリーライダー全員で行わなくてはなりません。(1名あたりの走行時間や周回数の制限はありません。)
- ・STクラスは複数での参加が望ましいですが、1名でも参加可能です。ただし、1名で参加の場合はレーススタート後15～25分の間にピットストップを必須とします。違反した場合、1周減算のペナルティとなります。フリーフィンゲで詳細を説明しますので必ず出席してください。

5. 車両規定【全クラス共通】

- ・参加車両は「KSR110」のみとします。またレース参加に相応しい整備が済んでいるものに限ります。
- ・安全上、ヘッドライト・テールライト・スピードメーターは取り外すことが望ましい。
取り付けたまま走行する場合は、テーピングを行うこと。(透明テープは不可)
- ・サイドスタンド・ミラー・ナンバープレートは、必ず取り外すこと。
- ・ホイールサイズは12インチに限ります。
- ・過給器・インジェクション、外部燃料供給・ラム圧の使用は禁止します。
- ・エンジンストップボタンを装着すること。
- ・エンジンプロケットカバーを必ず装着すること。
- ・フレーム・クランクケースはノーマルのものを使用すること。
- ・マフラーには有効な消音器(サイレンサー)を備えていること。
・オイル漏れに関わるボルトのワイヤーロックを義務付けます。(0.6mm～0.9mmのステンレス製ワイヤーを使用し、脱落防止措置を行ってください。ドレンボルト、フィルターキャップのワイヤーロックは必須です。)
- ・エアクリーナーボックスを取り外す場合は、オイルキャッチタンクの装着を義務付けます。最低容量は、250cc以上とします。
- ・ガソリンキャッチタンクの装着を義務付けます。飲料の空き缶、ペットボトル等の使用は、認めません。
構造上、エアイベントホースからキャッチタンクへの接続が不可能な場合は、オーバーフローホースのみでも可とします。
- ・アンダートレーの装着を義務付けます。エンジンオイル容量(1.1L)の全量を受け止めることのできる容量で、エンジンのどの部分からオイルがもれても受け止めることができる大きさが必要です。
受け止めたオイルの全量をコース上に落とすことなく保持できる構造のもののみ、使用を認めます。
- ・アンダートレーは、転倒時に容易に脱落、破損しないように確実に取り付けして下さい。

6. 車両規定【クラス毎】

①STクラス 排気量上限は、基本的に111ccです。純正オーバーサイズピストンの使用も不可です。

- ・下記部品の変更、交換を認めます。

- ・スパークプラグ・プラグキャップ・及びハイテンションコード
- ・前後スプロケット
- ・チェーン
- ・ワイヤー類
- ・マフラー
- ・キャブレターインナーパーツ(ジェットニードル・スロットルバルブ等)
- ・ブレーキパッド
- ・ハンドルグリップ
- ・タイヤ(但し、タイヤへの追加加工は禁止)
- ・マニュアルクラッチの装着
- ・車体色の変更(シートレザを含む)
- ・保安部品等不要な部品の取り外し(但し、ヘッドライトボディ・タンクシールド・シートカウル・フロントフェンダーの取り外しや形状変更は不可)
- ・アンダーカウルの装着
- ・ゼッケンは黒地に白文字とします。詳細は公式通知にてお知らせします。

②SSクラス 排気量上限は、基本的に111ccです。

・STクラスの項目に加えて下記の部品の変更、交換を認めます。

- ・発電機(磁石の取り外しのみ)
- ・バッテリー
- ・オイルクーラー
- ・ミッション
- ・クランクケースの加工(ミッション変更に伴う切削加工のみ)
- ・スロットル
- ・キャブレター本体
- ・エアクリナーエレメント変更(パワーフィルタ可)
- ・エアクリナーボックス
- ・マスターシリンダー
- ・ブレーキホース類
- ・キャリパー
- ・ブレーキディスク
- ・フロントフォークのインナーパーツ
- ・リアショック
- ・ハンドル
- ・ステップ
- ・外装品の変更(シールド取り外し・カウリング・シート・シートカウル・ガソリンタンク)
- ・ホイール(12インチのみ)
- ・ゼッケンは白地に黒文字とします。詳細は公式通知にてお知らせします。

③OPENクラス 排気量上限は、125cc未満とします。

・STクラス・SSクラスの項目に加えて下記の部品の変更、交換を認めます。

- ・点火システム(イグナイター・コイル)
- ・シリンダー・ピストン(125cc未満)
- ・エンジンヘッド及び関連部品(カムシャフト・バルブ等)
- ・フロントフォーク
- ・スイングアーム
- ・フレーム(加工のみ)
- ・ゼッケンは赤地に白文字とします。詳細は公式通知にてお知らせします。

7. 開催日及び会場

2010年7月4日(日) 筑波サーキット(コース1000)

・STクラスA(上級者クラス)	40分耐久レース	募集台数:30台
・STクラスB(初心者クラス)	40分耐久レース	募集台数:30台
・SSクラス	70分耐久レース	募集台数:30台×2=60台
・OPENクラス	70分耐久レース	募集台数:30台

エントリー料金(円)	クラス	一般	KAZE会員	※チーム全員がKAZE会員の場合のみ KAZE会員価格を適用します
	ST	12,000	11,000	
	SS	22,000	20,000	
	OPEN	22,000	20,000	

8. エントリー方法

カワサキモータースジャパンウェブサイト(<http://www.kawasaki-motors.com/>)よりエントリー用紙をダウンロードをしていただき、募集期間内に必要事項を全てご記入の上、「カワサキ正規取扱店」にエントリー代金を添えてお申し込みください。カワサキ正規取扱店から事務局にFAX送信いただいて(03-5343-7633)1次受付完了です。
エントリー人数が定員を超えた場合は、抽選といたします。

申込み受付期間

2010年6月1日(火)~6月18日(金)

クラス別改造限度一覧表

分類	項目	ゼッケン→		
		黒地に白文字 ST	白地に黒文字 SS	赤地に白文字 OPEN
点火系	スパークプラグ・プラグキャップ・コードの変更	○	○	○
	点火システム(イグナイタ変更)	×	×	○
	点火システム(コイル変更)	×	×	○
	発電機の変更・取り外し	×	△※1	○
	バッテリーの変更・取り外し	×	○	○
エンジン	オイルクーラー取り付け	×	○	○
	シリンダー・ピストンの加工・変更	×	△※2	125cc未満
	エンジンヘッド周りの加工・変更	×	×	○
	クランクケースの加工	×	△(切削加工のみ)	△(切削加工のみ)
	エンジンスプロケットカバーの取り外し	×	×	×
	ドレンボルト・ファイラーキャップのワイヤーロック	○(必須)	○(必須)	○(必須)
	オイルキャッチタンクの装着 ※3	—	△(条件により)	○(必須)
	アンダートレー(オイル受け皿)の取り付け	○(必須)	○(必須)	○(必須)
駆動系	ミッションの変更	×	○	○
	手動クラッチの取り付け	○	○	○
	スプロケットの変更	○	○	○
	チェーンの変更	○	○	○
吸気系	ワイヤー類の変更	○	○	○
	スロツトルの変更	×	○	○
	キャブレター本体の加工・変更	×	○	○
	キャブレターインナーパーツの変更	○	○	○
	ガソリンキャッチタンクの装着	○(必須)	○(必須)	○(必須)
	エアクリーナー・エレメントの変更	×	○	○
	エアクリーナー・ボックスの加工取り外し	×	○※4	○
クローズドブローバイシステム ※5	—	○(必須)	△(推奨)	
排気系	マフラーの変更	○	○	○
ブレーキ	ブレーキパッドの変更	○	○	○
	マスターシリンダー、ホースの変更	×	○	○
	キャリパー、ディスクの変更	×	○	○
サス	フロントフォークの変更	×	△(インナーはOK)	○
	リアショックの変更	×	○	○
車体	グリップ変更	○	○	○
	ハンドル変更	×	○	○
	ステップ変更	△※6	○	○
	スイングアームの加工・変更 ※7	×	×	○
	フレームの加工・変更	×※8	△※9	△(加工のみ)
外装	カウリング(フル・アッパー等)の取り付け	×	○	○
	シート・シートカウルの加工・変更	△※10	○	○
	ガソリンタンクの変更	×	○	○
	タンクシュラウドの取り外し・変更	×	○	○
足回り	タイヤの変更	△※11	○	○
	ホイールの変更	×	○(12インチのみ)	○(12インチのみ)

※1 磁石の取り外しのみ可。

※2 純正オーバーサイズピストンの使用は認めます。

※3 オイルキャッチタンクは金属製で250ccの容量があるもの。(エアクリーナーボックス取り外しの場合)

※4 エアクリーナーボックス取り外しの場合、有効なエアフィルター(パワーフィルター等)を装着すること。

※5 ブローバイガスはエアクリーナーボックス又はオイルキャッチタンクを経由して吸入経路に戻すこと。

※6 ステップバーの変更は可。

※7 チェーンガードの取り付けは可。

※8 改造したものを元に戻すための加工は可。

※9 カウル等外装品取り付け、バックステップ取り付けに伴う削除・加工は可。補強とみなされる加工は不可。

※10 ノーマルシートのアンコ抜き加工による形状変更は可。

※11 サイズの変更は不可。